

**2023年3月期 第3四半期  
決算発表 質疑応答**

(受注について)

**Q 1. 今期の受注の見通しについて教えてください。  
(決算説明会資料 p14)**

A 1. 期初計画5,200億円の達成には、第4四半期で1,600億円(前年比+130%)以上と積み残しが大きいため、5,000億円の目標に修正し、受注活動に取り組んでまいります。

**Q 2. 来期の受注の見通しについて教えてください。**

A 2. 来期に関しましては第4四半期の実績を見ながら計画してまいります。

**Q 3. 御社のお客様でアパートローンを利用されている方のうち変動金利を選択されている方はどれくらいいるのでしょうか。また、金利上昇の受注活動への影響について教えてください。**

A 3. 当社のお客様でアパートローンの変動金利をご利用の方は7割程度と認識しております。現在金利上昇による影響はありませんが、今後金利上昇が需要喚起に繋がると考えております。

**Q 4. 営業人員の採用についての取り組みについて教えてください。  
(決算説明会資料 p15)**

A 4. 採用市場は売り手市場で厳しい状況ですが、待遇面の改善、面接から内定までの採用プロセス見直しなどの取り組みにより、採用数を確保できると考えております。

**Q 5. 新型コロナウイルスの流行による受注活動への影響について教えてください。**

A 5. オーナー様や社員が新型コロナウイルスに感染したり、一部の案件で遅れが生じたりすることがありますが、影響は限定的となっております。

(完成工事高・完成工事総利益について)

**Q 6. 今期の完成工事高の見通しを教えてください。  
(決算説明会資料 p31)**

A 6. 今期第4四半期の完成工事高につきましては計画通り1,200億円程度を予定しております。

Q 7. 今期の完成工事総利益率の見通しを教えてください。

(決算説明会資料 p5)

A 7. 今期第3四半期は資材・原材料価格や労務費高騰により完成工事総利益率が20.3%に低下しましたが、第4四半期は昨年1月に実施しました販売価格の改定効果で、第3四半期と比べ1 p t 以上改善する見通しとなっております。

Q 8. 来期の完成工事総利益率の見通しを教えてください。

A 8. 来期の完成工事総利益率については販売価格の改定が寄与する一方、原材料や資材費が高騰傾向にあることから、今期より3 p t 前後の回復を見込んでおります。

Q 9. ZEH賃貸集合住宅とZEH賃貸集合住宅以外の物件の採算性について教えてください。

A 9. ZEH賃貸集合住宅は通常の商品に比べ価格は1～3%増加いたしますが、家賃設定も同程度上昇するため、オーナー様の採算性に変わりはありません。なお、ZEH賃貸集合住宅の利益率についても、他の商品と同程度となっております。

Q 10. 更なる販売価格改定の可能性について教えてください。

A 10. 現時点で更なる販売価格改定は検討しておりません。

Q 11. 為替の損益への影響と為替予約の考え方について教えてください。

(決算説明会資料 p6)

A 11. 為替1円の変動によって原価が約2.5億円変動します。為替予約は1年の輸入調達量の50%を目安に行っております。

Q 12. 木材の価格動向について教えてください。

A 12. 現在ピークアウトしておりますが、価格高騰以前までは下がっておらず、従来の1.2～1.5倍程度で推移しております。

(その他)

Q 13. 中期計画の最終年度は過去最高益の1,300億円を目標に進めていくとのことでしたが、達成の確度は高まっているのでしょうか。見通しについて教えてください。

A 13. 第4四半期の受注動向と、来期の原価高騰の程度にもよりますが、現時点での受注と資材価格の動向を踏まえると、1,300億円の達成はやや厳しい状況になりつつありますが、目標は下げず、達成に向けて、受注獲得と原価高騰への対策に尽力してまいります。

Q 14. 株主還元と自社株買いの可能性について教えてください。

A 14. 引き続き、コア事業強化のための成長投資を検討しておりますが、来年度において成長投資の資金使途に目途がつき、余資があれば自社株買いを含めた株主還元についても検討し、お知らせしたいと考えております。

以上